

今後の海外水インフラ事業に関する取り組み、活動予定について

(株)ヤクルト本社中央研究所
分 析 セ ン タ ー
0 4 2 - 5 7 7 - 8 9 9 2 (直)

当社の水インフラ事業に関する取り組みの経緯	当社および中央研究所は食品メーカーで水処理関連メーカーではありませんが、得意とする微生物技術を主体に環境保全にも役立ちたいと取り組んでいます。30年以上前、京都大学工学部の岩井重久教授が水処理の利用にヤクルト空容器に着目、以来、多くの研究者によるテストなど試行錯誤を経た結果「ヤクルトA&G 水処理システム」が実用化されました。現在も、利用分野ごとに研究・開発・改良など水浄化のメカニズム解明を続けています。
これまでの海外での水インフラ事業に関する取り組みについて	環境貢献の一環としてパラオ共和国等の浄化槽施設に、当社水処理システムでの浄化槽が採用・設置されています。最近、ベトナムやインドネシアでもヤクルト容器を用いた浄化槽の処理能力が再利用(中水利用)できる水質および管理の容易さそして余剰汚泥が少ないメリットで設置されました。
これまでの国内外の水インフラ事業に関わる取り組みについて	河川（一級,他）・湖沼（井の頭恩賜公園池,他）の水質およびアオコ浄化、食品系事業廃水処理、浄化槽、水再生施設など多くの国内実績を有しています。また、ヤクルトロ材を用いた水処理システムの微生物分解能力の解明や技術探求と普及活動を推進しています。
今後の海外での水インフラ事業に関わる取り組みについて	当社は東南アジアを主に海外 15 カ国(31 カ国にヤクルト製品を販売)にある自社工場や事業所廃水を、ヤクルトロ材を用いた「A&G 水処理システム」を用いてより高度に廃水の処理を図り、その国および地域関係者に技術の提供およびヤクルトロ材の供給など少しでも水環境の保全に繋がるよう取り組みたいと考えてます。

これまでの海外での水インフラ事業に関する取り組み

2005 年 6 月現地法人【株推進技術（チュジンキスル）】をソウル市内に設立し、推進工事によって下水道管渠布設を行なってきました。現地施工を行うにあたり、現地人を日本国内で雇用し、推進工事に関するノウハウを教え技術者教育を行ないました。

これまでに韓国の手建設会社（POSCO）（現代）等との工事契約を結び、φ 300mm～φ 2200mm の管を推進工事（現地人施工）により布設してまいりました。

今後の海外における活動方針や関係機関への要望について

海外における水インフラ整備を日本国として取り組む必要があります。

たとえば、『水道水を飲む』という習慣を海外の人々にも定着させるため、海外の町全体の上下水道管布設工事及び処理施設の建設等を日本国として受注、国内の各専門分野企業と協力し施工を行なう。

それにより日本の技術を海外に伝え、現地国の技術向上と発展を同時にサポートできる。日本国にとって技術者が資源であり、それを一企業が海外進出することは難しい。そのため、日本国として海外に日本の資源である技術を売り込む必要があるのではないかと思います。

弊社の活動方針について、外国人を日本国内雇用とし推進工事技術の教育を行い、外国人での施工を行うサポート及び掘削機械のリース調達、掘削機械販売促進を行なっていきたい。

横河電機の海外水インフラ事業への取り組み

横河電機は、計測、制御、情報の各分野を技術ドメインとし、上下水道を含む産業界のお客様のプラントへ、自社で開発製造している監視制御システムや現場センサを中心に、各種ソリューション、サービスを提供する制御事業を展開しております。グローバル2万人の従業員の半数は、世界50ヶ国200を超える営業、エンジニアリング、サービスの拠点で勤務しており、海外での売上は60%を占めています。

海外の上下水道関連施設や海水淡水化施設の建設・更新プロジェクトは、これまでに世界各地で200件を遂行してまいりました。弊社ホームページでは、タイの Metropolitan Waterworks Authority 様への配水管理システム納入事例や、韓国の Korean Water Resources Corporation 様への浄水場の監視制御システム納入事例、イギリスの United Utilities 様への配水コントロールシステム納入事例をご覧ください。

⇒<http://www.yokogawa.com/iab/suc/water/suc-Water-INDEXen.htm>

統合生産制御システム **CENTUM VP**



ネットワークベース生産システム



電磁流量計



超音波レベル計



差圧・圧力伝送器



濁度計



残留塩素計



今後の海外活動方針

横河電機のグローバル体制を活用し、既設設備の更新に加え、国内企業や地方自治体との協業、さらには海外企業との協業など新たな動きも加速させ、水ビジネスの海外展開を積極的に推進してまいります。

関係機関への要望

国土交通省、厚生労働省、経済産業省などの関係省庁が一体となり、日本の水循環システムをまとめあげ、政府主導で官民連携の海外展開を強力に推進していただきたいと思っております。

vigilantplant.®

The clear path to operational excellence

SEE
CLEARLY

KNOW
IN ADVANCE

ACT
WITH AGILITY

VigilantPlant (ビジラントプラント) は、お客様の理想の操作を実現する YOKOGAWA のビジョンです。プラントを隅々まで見渡し (SEE)、将来を予見し (KNOW)、俊敏な操作 (ACT) でビジネスの成長を支えます。

横河電機株式会社 〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

グリーンファクトリー・ソリューション本部 マーケティングセンター 新市場開拓部

TEL : 0422-52-5541 FAX : 0422-52-8054

YOKOGAWA